

救
急
対
応

健康あるある
お正月といえば

2016

1

vol.41



ゆい ちゅうぶ



【催し物の
ご案内】

「1月開催予定」

平成28年第13回
県立中部病院・地域医療連携
新春懇談会

日時：平成28年1月21日（木曜日）
午後7時～9時
場所：ヒルトン沖縄北谷リゾート

「2月開催予定」

がん診療拠点病院主催イベント

『今知っておきたい！「がん」のこと』

日時：編成28年2月6日（土曜日）

10時～18時

場所：イオンモール沖縄ライカム
1階ホール
(ライカムグランドスクエア)

「ゆんたく会のご案内」

第74回 1月29日（金）

午後2時～午後4時

第3会議室

第75回 2月23日（火）

午後2時～午後4時

第3会議室

新年のあいさつ

ぼっしゃりナースの
【スリム化プロジェクト】
【なんぶ歳時記】

新年のあいさつ



院長 上原 元

新年明けましておめでとうございます。中部病院院長の上原です。いよいよ今年は診療報酬改定があります。また、地域医療構想がより具体化される年でもあります。病院完結型ではなく、地域完結型となることが一層要求されます。地域医療機関との連携をより強固にしていきたいものです。

さて今年は申年です。申年のいわれは「伸びる年」だそうです。色々な困難が予想されますが、それを乗り越え、発展させる年にしたいものです。



副院長 新垣 義孝

沖縄県立中部病院副院長の新垣義孝です。
あけましておめでとうございます。

中部病院の理念は、“私達はすべての県民が、いつでもどこでも安心して満足できる医療を提供します”となっています。
中部病院の全ての職員は沖縄県全域を見据えて県民のために満足出来る様な医療を提供することを誓っているということです。

病院では、いろいろな問題に直面します。
問題を解決する手だけではなく、多くの当事者がすでに考えていることが多いのです。

問題を放置すると悪循環に陥り組織は劣化して行きます。ちいさな問題でも解決して行けば、良い循環になり、組織は生き生きとしたものになるでしょう。

さて、2016年10月3日から電子カルテが稼働します。電子カルテは病院の業務をコンピュータで処理して業務がよりスムーズに行えるようにして、中部病院の理念を実現するためのものです。電子カルテの導入を期に、各部署の業務のやりかたや連携のあり方を見直して、診療、医事計算、カンファレンス、学会活動などの業務がスムーズに行えるような環境にしたいものです。電子カルテのワーキンググループが動いています。

中部病院の理念を実現して行くために多くの工夫や提案を期待して新年のご挨拶とします。



副院長 本竹 秀光

地域の皆様、職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

さて、中部病院では10月の電子カルテ可動に向けて職員一同一致団結して準備に当たっているところです。電子カルテの運用で患者様には外来や入院においてスムーズなサービスが提供できるものと思います。

また、病院のアメニティとしては外来玄関横にコーヒーショップの導入で、診療を待つ間や診療後に患者様、付き添いの方、お見舞いの方々がリラックスできるような空間を計画しています。現在3月末にはコーヒーショップをオープン予定です。皆様乞うご期待です。

がん啓発イベント

今知っておきたい！「がん」のコト

イオンモール沖縄ライカム1階 ライカムグランドスクエア
平成28年2月6日（土曜日）10時～18時

シッダールタ・ムカジーによる『病の皇帝「がん」に挑む — 人類4000年の苦闘』(翻訳:田中文)という本をご存連綿と続く人類とがんとの苦闘の歴史が克明に描写されています。現代は生涯で二人に一人はがんに罹患する在となっていますが、人類のがんへの挑戦には未だに終わりが見えません。しかしながら、暗闇に光を照らすよし、そしてより複雑になっています。

県立中部病院では、広く地域の皆様に、複雑化した最新のがん医療について分かりやすくお伝えするために、乳がん、肺がん、大腸がんをはじめ、婦人科がん、頭頸部がん、泌尿器がん、放射線治療、口腔ケア、免疫療法などとともに、相談コーナーを設け、がんに関する疑問や不安にお答えします。

関係者一同、皆様の御来場を心よりお待ちしております。



あけましておめでとうございます。
4月から医療部長として病院の業務に関わるようになりました。地域の皆様と顔の見える連携を心がけ、地域のニーズに速やかに対応できるよう心掛けてまいります。

また今年は当院の電子カルテシステム導入という大きなイベントがあります。中部病院の理念であるチームワークを生かして、地域の皆様にご負担をかけずにスムーズに導入できるよう、職員の皆様の協力をお願いします。

医療部長

小濱 守安



医療部長

橋口 幹夫

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。
旧年中はひとかたならぬお世話に成、誠にありがとうございました。

2016年、申年の年頭に当たり、御挨拶を申し上げます。

地域医療構想、地域医療包括ケア構想をふまえ、高度急性期病院、研修病院、救急医療等、従来得意分野としてきた事を中心に、当院が地域医療に果たす役割を推進して参ります。

電子カルテの導入に伴い、業務の見直しを行い、より一層スムーズな連携が図れるよう努めて参ります。

病床機能の見直し、診療報酬マイナス改定等、医療機関には益々厳しい時代となっておりますが、皆様と力を合わせ、地域医療の発展に尽力する所存でございますので、本年も倍旧の御支援とご理解の程、よろしくお願ひいたします。

皆様のご発展と益々のご健勝をお祈り申し上げます。



皆様、あけましておめでとうございます。
2016年が平和で穏やかな年であることを祈念し、ご挨拶申し上げます。

当院は昨年、外来フロアに「入院支援室」を開設し、入院時の問診やオリエンテーションを行うことにより、看護サービスの向上に努めております。今後はさらに職種間の連携を強化し、患者様の早期回復、早期退院に向けて取り組んでまいります。

当院が急性期病院としての機能と使命が果たせるよう、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

副院長兼
看護部長

比嘉 真利子



事務部長

仲間 元子

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。職員一同感謝申し上げます。

昨年4月に、中部病院に事務部長として赴任してからの日々を振り返りますと、目まぐるしく飛び去ってしまったように感じております。

2025年に向けての地域医療構想・病床機能編成。また、診療報酬改訂はすでにマイナス改定と言われており、課題は山積している状況ですが、今後とも地域の皆様に満足頂ける医療を提供して参りたいと存じます。

今年も昨年同様、御指導、御支援頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

がん診療運営委員長
朝倉 義崇

存じでしょうか。この本には、過去から現在まで時代と言われ、私たちにとってがんは身近な存ように、少しずつですが、がん医療は着実に進歩

がん啓発イベントを開催します。五大がんである多方面にわたり、現場で活躍する医師が解説

**沖縄県立中部病院主催
今知っておきたい！「がん」のコト**

日程：平成28年2月6日（土）10:00～18:00
場所：イオンモール沖縄ライカム1Fホール
(ライカムグランドスクエア)

共催：沖縄県がん診療連携協議会
琉球大学医学部附属病院
那覇市立病院
沖縄県立宮古病院
沖縄県立八重山病院
中部地区医師会

お問い合わせ
TEL: 098-973-4111

イベント内容：

- がんに関するミニ講演会
- がんに関する相談コーナー
- 乳がん触診モデル展示 パネル展示
- 呼気一酸化炭素検査体験 音楽演奏会

がんの予防、検診、治療に関する正しい知識を持つことで、がん検診受診率の向上を目指し、がん患者及びその家族の不安や疑問の解消を図ることを目的にがんに関する情報の普及・啓発のためのイベント。

お正月といえば

健康 あるある

救急対応



はいさい、
今回宮古から健康あるあるお届けします。

正月といえば、おせち料理に飲酒の機会も増え、久しぶりにお餅を食べ喉をつまらす事故もよく聞きますよね。そんな楽しい正月も、気をつけないと、怖い病気にかかりてしまいます。塩分の多い食事で急性心不全、飲酒しすぎて急性胰炎、飲酒絡みの交通事故、睡眠不足などが原因でおこる交通事故や慢性疾患が増悪する(例:てんかんのある方がけいれん発作をおこしてしまってなど)、また、インフルエンザは今のところまだ流行していないませんが、人が集まる機会が多くれば、ウイルス疾患大流行のきっかけになってしまふかもしれません。

睡眠をしつかり取り適度な食生活、飲酒で、より楽しい正月を過ごしてほしいのです。もし、万が一病気になってしまったら、救急室にてしつかり対応させていただきます。

あら んぐな かぎ正月ゆ んかいるよ
(ではみんなん良い正月を迎えてくださいね)
たんでいがーたんでい。

宮古病院 救急科 医師 木全俊介(元中部病院救急科)

新年あけましておめでとうございます。
本年もP子共々広報紙をご愛読いただき
ありがとうございます。

この時期は、忘年会からはじまりクリスマス会、
お正月、新年会と続きますので、P子にとっては
過ごしにくい時期でしょうか?

それでも、3食の量をコントロールし、
暴飲暴食しないよう心掛けていきましょう。
でも、「ダイエットは明日から!」という言葉が
つい出てしまうんですね。

氣を引き締めて、身を引き締める思いで
美活スタイルを目指します。

今年もよろしくお願ひいたします。

(ぱっしゃりナース代表)



な ん ぶ 歳 時 記

県立
病院・リレー連載

沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター
経営課 牧田文博

日々季節外れですが、先日のハロウィンのこと

をお伝えします。

南部医療センター・子ども医療センターでも恒
例の院内ツアーガ行われました。今年からは小児
病棟の子ども達に加えて、みなみのこ保育園の園
児達も参加していただき、最高の笑顔をいただきました。

皆さんもハロウィンを楽しめたと思いますが、
日本に浸透したきっかけ、ご存知でしょうか? 東
京ディズニーランド
だといわれているそ
うです。「ディズニー!
ハロウイーン」の期間中、
来場者がディズニー
キャラクターに仮装
できるため、仮装を樂
しむきっかけに繋が
ったのではとのこと。
そういえばこの季節、
院内にはディズニー
キャラクターがいた
ところにあるような。
ディズニーに乗せ
られているのだと思
ても、こども達が季節
を感じ、仮装を楽しん
でくれれば何よりです。



沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281
TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] **098-973-2703**
[地域連携室] **098-982-6568**



沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>